

## 第7回 中学校給食推進連絡調整会議作業部会 会議録

- 開催日時 平成28年 3月16日(水) 15:45~17:15
- 場 所 教育文化会館 第2会議室
- 出席者 委員：中学校長代表 佐藤校長  
中学校教頭代表 高城教頭  
中学校教務主任代表 三宅総括教諭  
中学校養護教諭代表 野口総括教諭  
中学校生徒指導担当代表 甲斐総括教諭  
教職員代表 川崎市教職員組合 阿部書記長、鈴木栄養教職員部長  
教育) 望月中学校給食推進室長 邊見健康教育課担当課長、  
北村中学校給食推進室担当課長

※欠席者： 中学校長代表 山田校長  
小学校長代表 鈴木校長、山崎校長  
川崎市教職員組合 榎間書記次長  
教育) 星野指導課担当課長 森中学校給食担当課長

事務局：教育) 中学校給食推進室 新田担当係長、大谷主任、沼田主任、

### ■内 容 (進行 中学校給食推進室)

— 資料確認 —

— 中学校給食推進室長挨拶 —

資料1 「中学校完全給食試行実施に関するアンケート」の集計結果について

資料2 中学校給食推進連絡調整会議設置要綱の改正について(案)

資料3-1 川崎市立学校給食における食物アレルギー対応方針について(依頼)

資料3-2 川崎市立中学校における食物アレルギー対応について

(事務局より説明)

委 員 川崎市立学校給食における食物アレルギー対応方針では、代替食対応をしないということだが、小麦を使用している主食のパンや麺類について、小学校では提供せずに主食分を返金対応とするのに対し、中学校の場合はパンや麺類の代わりにご飯を提供し返金はしないということか。

事 務 局 そのようになる。

資料4 川崎市立中学校完全給食実施の手引き(たたき台案)

## 第5章（事務局より説明）

- 委員 食物アレルギーの情報把握と対応だが、「学校給食における対応フローチャート」のようなスケジュールや方法では、生徒が小学校よりも多く煩雑で難しい。個別面談には学校側はここに書かれている全員がそろわなければならないのか。もう少し簡略化できないか。栄養教諭が配置されない中学校では負担が大きい。
- 事務局 食物アレルギーの対応については、慎重に対応しなければならない。個別面談をし学校側がしっかり把握する必要がある。校長はもちろん、センターの栄養士も情報を把握し対応する必要があるので個別面談にはこの全員の参加が必要。
- 委員 小学校からアレルギー情報について、引継ぎをすることによりうまく利用できないか。
- 委員 食物アレルギー検討委員会で、高等学校まで引き継げる児童生徒のアレルギー情報について書かれた文書を検討しており、現在（例）として小学校に示している。
- 事務局 それを活用できれば違う方法も取れる。
- 委員 アレルギーについては、生死に関わる重大な情報であるので、担当者レベルではなく小学校長と中学校長の引継ぎが必要と思う。
- 事務局 小学校からの引継ぎ等があるとしても個別面談は必ず必要であるが、食物アレルギーアンケート等での把握方法についてや個別面談までの流れについては検討する。
- 委員 給食センターからの配送対象校では、給食センターの栄養士が学校に出向くことになると思うが、中学校は学校給食についての知識がないので、栄養士には必ず全校に回っていただきたい。
- 委員 平成29年度は学校の給食開始が4月からではないので、給食開始までの準備期間がとれるが、次の新年度に対する動きと違うと混乱してしまうので、予行も兼ねて同じ様なシステムやスケジュールで食物アレルギーの情報把握と対応までの流れとした方がよい
- 委員 給食費についてだが、4月分は4月に徴収できない。学校により徴収月も違う。
- 委員 小学校も4月分は5月分と合わせ徴収し公益財団法人川崎市学校給食会へ支払っている。
- 事務局 中学校についてもそこは同じと認識しており、徴収回数も含めスケジュール等について検討する。

17時15分 閉会